

▲初心者は貸し道具で気軽に楽しんでみては！

•Tackle Guide

竿は全長1.8メートル前後の専用竿のほか、オモリ40号に対応したゲームロッドでOK。仕掛けは2本ハリがトラブルも少なくおすすめ。船宿仕掛けはハリス1.5号だが、食船がいけないときは2号がおすすめ。で支給される付けエサはアカダン、アオイソメは持参となる。

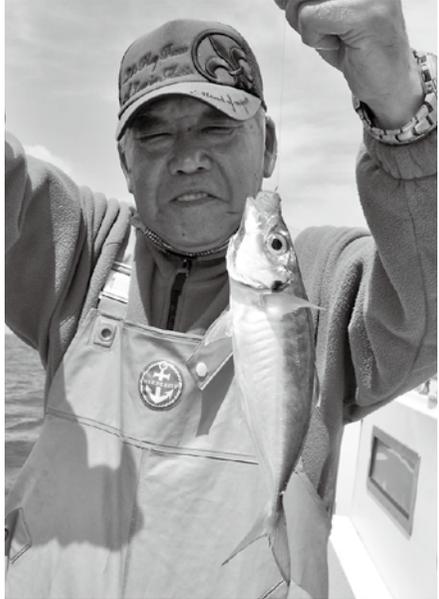
「て釣りなよ」とマーちゃん。お客さん3人と非番で仲乗りの手伝いに来た船長2人の写真を撮ったところで私も釣りに参加させていただいた。私の道具はレンタルタックルだが、同宿の貸し竿はしっかり手入れされているので使

置き竿が効く!?

コマセカゴにコマセを詰めて投入し、指示ダナでコマセを振って待っているとほどなくアタリ。久しぶりのアジ釣りでバラさないよう慎重に巻き上げる。抜き上げたのは20センチ弱と周りに比べてちよつと小ぶり。続いて小さめのカサゴが釣れたが、ほかの方

いやすい。沖釣り入門者はレンタルタックルが手軽でおすすめだ。

▼タナを微調整して上アゴに掛かる率を高めれば、バラしは少ない



に比べ盛り上がり欠ける。ところが「ダブルできたよ」とか「大きいのがきたよ」と声がかかり、置き竿にして画撮りに行って自席に戻ると、なんとダブル、それも置き竿のたびに連発。しかもサイズは25センチ前後がほとんどで、小さくても20センチはある。それが4度、5度と続いて、これには私も苦笑い。アツという間にお土産を確保したが、ここで竿を取める理由もなく、すでに画撮りもほとんど終わっているの釣りに専念することにした。

とくに上バりに掛かると一段と引きが強い。仲乗り役の船長たちも合間に釣りをして晩酌のおかずをゲット。東京湾の黄金色に輝くアジは船長の好物である。食い止まりを懸念したが、上げ潮が効いてアジの活性は高いようだ。その後は単発が続いたが型がよいからノープロブレム！サイズがよすぎで海面での口切れバラシもチラホラあるが、これはアジ釣りではよくあること。

まさに旬を迎えた東京湾のアジ。大型連休にぜひ！

ちなみに私も31尾をゲットして久しぶりのアジ釣りを堪能。夕食は刺身にたたく、フライと釣りのアジをおいしくいただいた。

●船宿information

東京湾奥深川
富士見
☎03-3641-0507
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=ライトアジ乗合一人9900円(コマセ、付けエサ付き)。女性・子供割引あり
▶備考=7時20分出船。ライトアジ船はリクエスト乗合で3名から出船。シロギスへも

齋藤 正雄船長



▲東京湾のライトアジはゴールデンウィークも大いに期待できそうだ

初夏の清々しい日差しが海へといざなう、沖釣り入門に最適なシーズンがやってきた。海の中も同様で、潮が温むこれからは魚の活性は上がる一方。東京湾の沖釣り入門タ

金色の魚体もピッカピカに輝きが増している。そういえば最近アジを食べていないな〜と思い、船宿のホームページを物色していると編集部から、「明日取材に行きませんか?」とライトアジの依頼がきた。

手軽に釣れておもしろい優等生 一日船でのんびりライトアジ

●東京湾奥深川発↓木更津沖

フナヒシメライター/竹川啓一 Keiji Takekawa

狙い通りの良型ぞろい

当日は予約のお客さんが全員そろったので、定刻の7時20分より少し早めに河岸払いとなった。高層ビルが立ち並ぶ下町の運河を抜け、良型アジを求めて目指すは木

更津沖。木更津沖は小型の数が出る釣り場という印象をお持ちの方もいるが、季節やポイントによっては良型のおいしいアジが釣れるのである。

今日は昼過ぎまで上げ潮だから勢いは止まらないだろう、と早くも皮算用である。単発でもほとんど数がのびていく釣れっぷりだが、「そんなにうまくはいかないよ。パタッと釣れなくなることもあるから、早く写真撮っ

ビンゴ! 世間でいうところの渡りに船であるうか。4月中旬に出かけたのは東京湾奥深川の富士見である。同宿は江戸時代から続く老舗で、ハゼとシロギスが2大看板。ライトアジはリクエスト乗合だが、平日でも3名から出船するので人気が高い。

釣り場に到着すると、すでに湾奥のアジ船が数隻浮かんでいて釣りの真っ最中。時折銀鱗が光って見えているが、マーちゃんいわく、「ボチボチ釣れているのが確認できるなら、その船はバリバリに釣れているよ」とのこと。今日は期待できそうな雰囲気である。

続いて同じ人に33センチの大型がヒット。幅広で太っているから見た目以上に大きく見える。もちろん黄金色に輝いておもしろいのである。

知得! ライトアジのコツ

「通常はタナに合わせてコマセを振って待っていればOK。アタリが遠いときは、指示ダナの下から2~3回に分けてコマセをまいて、軽く竿を上下に動かして誘いをかけると食ってくるよ」とは船長のアドバイス。

▲食い渡ったらコマセワークをひと工夫